

報道関係者各位

世界オンリーワンWi-Fiテクノロジー！2025年からウクライナで採用決定！

スキー場から建設現場まで活躍する通信技術がウクライナの復興を支援

世界唯一の無線多段中継技術を有するPicoCELA株式会社（東京都中央区、代表取締役 古川浩、以下PicoCELA）は、同社製品PCWLシリーズがウクライナの復興支援プロジェクトに採用され、2025年から現地導入されることを発表しました。

1. PicoCELAについて

PicoCELAは、広域なエリアに最小限のLAN配線でインターネット環境を構築できる、世界唯一の無線多段中継技術を有しており、2008年の創業以降、スキー場や大規模建設現場、工場倉庫、商業施設、キャンプ場など、日本国内を中心に屋内外1000ヶ所以上で導入され、各業界のDXを推進してきました。

技術特徴

- ①特許技術PicoCELA Backhaul Engine”（ピコセラバックホールエンジン,以下PBE）により、高い安定性と低遅延特性を有する無線バックホールを実現
- ②PBEを搭載したアクセスポイントPCWLシリーズを電源に挿して複数配置することで 広域なエリアを迅速かつ低コストにWi-Fiエリア化
- ③スキー場全域のWi-Fi化では従来コストを100分の1に削減
- ④LAN配線を90%以上削減した実績あり
- ⑤配線工事期間が短縮されるため迅速なインターネット環境の構築が可能



2. ウクライナ復興支援プロジェクト採択の経緯

2024年2月に東京で開催された「日・ウクライナ経済復興推進会議」や、2024年6月にベルリンで開催された「日・ウクライナ官民ラウンドテーブル」への参加を経て、2025年に国連工業開発機構（UNIDO）のウクライナ復興支援プロジェクトに採択されました。



2024年2月「日・ウクライナ経済復興推進会議」の様（写真右端がPicoCELA代表取締役 古川浩）

3. 今後について

PicoCELAは、双日株式会社およびウクライナの大手通信事業者Kyivstarと連携し、PicoCELA独自の無線多段中継技術を活用することで、ウクライナ国内の被災地を含む広範囲な地域へのインターネット環境を迅速かつ低コストで構築します。この技術は、従来の通信インフラと比べて配線工事の負担を大幅に削減できる利点を活かし、ウクライナの復興に向けた通信環境整備の加速に貢献します。

PicoCELAについて

- 主な事業内容：特許技術を活用した無線通信製品の製造販売・ライセンス提供
 - 自社ホームページ：<https://picocela.com/>
 - 資本金：100,000,000円（2024年9月末日現在）
 - 従業員数：50名（2024年9月末日現在）
 - 上場市場：米国NASDAQ市場（2025年1月16日上場）
-

<主な受賞歴>

- 2022年 令和4年度 知財功労賞「特許庁長官表彰（知的財産権制度活用優良企業）」受賞
- 2020年
 - 第6回知的財産活用表彰 知的財産活用奨励賞 知的財産情報部門受賞

報道関係者各位

- 第5回JEITAベンチャー賞 受賞
- Orange Fab Asia 5G Challenge Final Pitch Competition 第1位
- 2019年
 - Viva Technologyにて、Orange Fab Asiaに採択
 - 内閣府主催のスーパーシティフォーラム2019において、出展企業28社の1社に選定
- 2018年
 - JR東日本スタートアップ大賞受賞
 - Google Launchpad Accelerator Tokyoにて、第1期生7社の中の1社に採択

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

PicoCELA株式会社 広報室長：中西

電話：070-5270-5187

メールアドレス：promotion@picocela.com